

環境共生資源学特論 I (2単位)

担当者氏名 両角和夫

◆学習・教育目標

本特論では、農業問題と環境問題の関係と解決の在り方について論じる。農業問題は、資本主義が農業をうまくその経済システムに組み込めないがゆえに、言い換えれば資本主義的処理がうまく行かない故に発生した。一方、環境問題は、資本主義経済の発展によって悪化した自然環境を自らのシステムではなかなか解決できない問題である。この二つの問題は、今日の資本主義経済のもとで相互に関連して、人類の生存を脅かす重大な問題となった。この二つの問題は一体的に解決されねばならない。講義では、こうした問題はどのように発生し、具体的にどのような問題として出現しているのか、それらはどのようにして一体的に解決できるのかを論じる。本特論 I では、経済学的な側面から理論的なアプローチを行うと共に、問題発現の局面の検討を通して、環境共生の視点から農業や地域の在り方を考える基礎的知見を身に着けることを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業問題

環境問題

資本主義経済

環境共生

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	「課題と方法」(1~2週)	資本主義における社会問題としての農業問題と環境問題の意味	農業問題と環境問題の理解には経済学をきちんと理解する必要がある、必要な授業はするがある程度の準備をしておいてもらいたい。また、農業問題や環境問題の発現局面をきちんと認識する必要がある。これも講義で触れるが、それらに関する知識はある程度持つておいてもらいたい
2	「資本主義の発展と農業問題の発生」(3~70週)	世界資本主義の発生・展開と資本主義的農業処理に関する理論的アプローチと問題発生の局面(日本と欧米)	
3	「環境問題の発生と展開」(8~12週)	資本主義における環境問題の発生と展開	
4	「農業問題と環境問題の一体的解決」(13~15)	農業問題の処理がどのように環境問題の解決に関連するの検討	
5			

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

経済原論/宇野弘蔵/岩波新書 (最新版)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

農業問題の展開と自治村落/斉藤仁/日本経済評論社 (1989年)、新資本主義論/馬場宏二/名古屋大学出版会 (1997)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

授業中に課すレポート (60点) と授業参加態度、すなわちディスカッション (40点) をもとに評価する。

◆その他受講上の注意事項

指定した、教科書、参考書を熟読しておくこと。